

あいち農産物生産流通レポート

平成23年12月号

情報サロン		
・農業総合試験場公開デーを開催しました		
～ 発見・体験！あいちの農を支える技術 ～		
(農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・とよねブランド推進協議会について		
(新城設楽農林水産事務所)	2
東日本情報		
・農林水産祭「実りのフェスティバル」が開催される		
(東京事務所)	3
西日本情報		
・米粉・Rice Powderフェア2011を開催しました		
(園芸農産課)	5
フラワーページ		
・花き業界の現状と今後の可能性	6
(株)千政 代表取締役 大根秀夫)		
・第25回全国スプレーマム愛知大会が盛大に開催されました	8
(園芸農産課)		
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	10
・名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し	11
花 き		
・切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	23
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2011年9月)	27
関連指数	28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

農業総合試験場公開デーを開催しました

～ 発見・体験！あいちの農を支える技術 ～

愛知県農業総合試験場では、研究成果などを県民の皆様に紹介し、農業についての理解を深めていただくため、公開デー「発見・体験！あいちの農を支える技術」を平成 23 年 11 月 3 日（木・祝）に開催しました。公開デーは、平成 16 年から毎年開催しており、今回で 8 回目となりました。今年は、農業総合試験場で作った生産物の即売会を初めて実施し、長い列ができるほどの人気でした。当日は、約 600 名（一般県民、農業者など関係者）が来場され、試験場の研究成果を広く知ってもらうことができました。

1 各種展示、フォーラム

新品種や新技術などの各研究部の研究成果について、パネルや実物で研究員が直接説明しました。また企画展示として、世界的な肥料原料鉱物の分布と資源量、肥料三要素の欠如の影響、農業に使われる水資源と輸出入を通じた「仮想水」の国際的な動きを紹介しました。その他、名古屋大学大学院生命農学研究科との連携協定 5 周年記念で、パネル展示と記念フォーラムを行い、フォーラムでは「作物の根の発育と機能」「昆虫の超能力を探り昆虫を退治する」「耐湿性小麦品種「きぬあかり（東海 103 号）」の育成」等の講演を行いました。



研究成果の展示



記念フォーラム

2 ワークショップ、食味試験

ワークショップは ブロッコリーから DNA を取りだそう 土のふしぎ 果物の栄養素とおいしい果実の選び方、の 3 講座を開催しました。定員を超える 130 名の参加があり盛況でした。

食味試験は、小麦新品種「きぬあかり」のうどん試食を行い、用意した 200 食は完食されました。



ワークショップ

3 施設見学

作物研究部と園芸研究部（野菜）の施設見学では、名古屋大学留学生 20 名を含む計 39 名が参加し、世代促進温室や大型作業機、トマトやイチゴの温室を見学しました。

4 農業・園芸相談

農業・園芸相談コーナーでは、44 名の方から病害虫や栽培方法について相談を受けました。

5 脱穀・縄ない体験と昔の農具の展示

千歯及び回転式脱穀機による脱穀や縄ない機による縄ないの体験を行いました。

とよねブランド推進協議会について

近年、茶臼山高原の芝桜をはじめとして、多くの観光客の方々が豊根村を訪れています。そこで、豊根村の食べ物や特産品のブランド化を通じて、もっと多くの方々に豊根村の魅力を知っていただくため、とよねのブランドの推進及び認定を行う「とよねブランド推進協議会」が平成22年3月2日に発足しました。現在、とよねブランド推進協議会は、豊根村内の24の企業と団体から組織されています。

豊根村純産品及び特撰品の認定(特産品のブランド化事業)

とよねブランド推進協議会では、特産品を豊根村のものを使って豊根村で製造された**豊根村純産品**と、豊根村で製造(あるいは豊根村のものが使用)された**豊根村特撰品**の2種類に分けて、とよねブランドとして認定しています。現在、純産品は58品目、特撰品は10品目が認定されており、販売時にはそれぞれの認定シールが貼られています。



とよねブランドの証のロゴ

とよねブランド売り場

とよねブランド商品は、下記4店舗の特産品売り場にて販売されています。皆さまも豊根村に足をお運びいただき、ぜひともとよねブランド商品をお買い求めください。

- ・茶臼山高原やはず売店(北設楽郡豊根村坂宇場字御所平 70-185)
- ・湯~らんどパルとよね売店(北設楽郡豊根村上黒川字長野田 20)
- ・グリーンポート宮嶋売店(北設楽郡豊根村坂宇場字宮ノ嶋 29-3)
- ・来富館売店(北設楽郡豊根村富山字湯野島 25-4)



グリーンポート宮嶋売店の特産品売り場



豊根村純産品のブルーベリージャムとゆずジャム(両端)及び特撰品の桑の実デザートソース(中央)

お問い合わせ先

とよねブランド推進協議会事務局 豊根村観光協会

電話 0536-87-2525

URL <http://www.toyonemura-kanko.jp/main/>

農林水産祭「実りのフェスティバル」が開催される

東京ビックサイトで、11月4日（金）～5日（土）、農林水産祭「実りのフェスティバル」が開催されました。

本行事は農林水産部門で優れた業績を挙げた団体・個人を顕彰する三賞（天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞）の選考、受賞式典にあわせて行われる啓発行事で、昭和36年に始まり、今年で50回目の開催となりました。



「実りのフェスティバル」は、広く国民に農業を理解してもらうため、これら三賞受賞者の展示コーナー、政府特別展示コーナー、都道府県技術・経営普及展コーナーが設けられています。



野菜の販売

11月4日（金）の午前中は、秋篠宮ご夫妻によるご観覧の後、一般観覧となり、参加した41都道府県の販売ブースは多くの来客で賑わいました。

各県ごとにお国自慢の野菜、果実、漬け物やジャム等の加工食品、銘柄酒、水産及び畜産加工品が展示即売され、県によってはマスコットキャラクター（ゆるキャラ）やキャンペーンレディが華を添えていました。

多くの人で賑わう各県ブース
コーナーが設けられています。今回は新たに東日本大震災の被災地支援コーナーも設けられました。ちなみに本県関係では、園芸部門で天皇杯に松浦園芸（豊橋市、洋ラン）、内閣総理大臣賞にJA愛知みなみ常春部会（田原市、キャベツ）が選ばれ、天皇杯展示コーナーで業績が紹介されました。



天皇杯受賞者の展示

本県ブースでは、キャベツ、おおば、トマト、中玉トマト、ミニトマト、ブロッコリー、ふき、次郎柿、ぎんなんなどの青果、ピンポンمام、シクラメンなどの花きに加えて、名古屋コーチン協会の協力でコーチン製品（卵、ハム、ソーセージ、カステラ、卵スープ）を販売しました。また、同時にふき煮物、おおばジュース、ミニトマト、カステラ、ハムの試食宣伝を行いました。試食の効果は高く、ふきやミニトマトの売り上げは好調でした。また、ブランド鶏である名古屋コーチンの製品は全般に高めの価格のものもありましたが、関心のある客も多く、足を止めて試食したり、購入していく姿がみられました。



青果の試食

11月5日（土）は休日ということもあり、家族連れの来客が多くみられ、午後には多くの商品が完売となりました。



名古屋コーチン製品の販売

出展した数県の関係者にブースでの販売状況を聞いてみたところ、昨年と比べて売れ行きはやや低調ということでした。景気低迷のためか、客の財布のひもは想像以上にかたいようです。

現在、日本の農産物は、景気低迷に加えて、放射性物質による汚染問題もあり、厳しい状況ではありますが、こうしたイベントを経済的に行うことが、国産青果物の販売促進につながっていくものと考えます。

試食宣伝の際に料理レシピを手渡ししながらPRを行いました。本県がキャベツ、おおば、ふき、ぎんなんなどの産地であることを知らない客が意外に多く、首都圏における本県産青果物の知名度アップの必要性を感じました。



花の販売

米粉・Rice Powder フェア2011を開催しました

小麦粉並みに細かく製粉できるようになった米粉は、パンや麺、洋菓子などに用途が広がっています。米粉食品は、もっちりとした食感や、揚げ物に使うと油を吸収しにくいヘルシーさなどが注目されています。また、小麦アレルギーの人からも新食品の登場に対して大きな期待が寄せられています。

さらに、国内で自給できる米を使うことは食料自給率の向上にもつながります。

そこで、愛知県産米粉を使った食品を一堂に集め、紹介・製造実演・販売等を行う「米粉・Rice Powder フェア2011」を10月6日(木)から11日(火)まで名古屋市栄の(株)丸栄で開催したところ、約2万人の方が来場され、好評のうちに終了しました。

【 内 容 】

1 販売コーナー

19の企業・団体が出展し、パン、麺、クッキー、ケーキなど地産地消の商品を含めて80品目以上が販売されました。中には、米粉カレールウやフェア限定のどら焼きも販売されました。



会場内の様子

2 情報コーナー

- 食物アレルギー食事相談 -

愛知文教女子短期大学の安藤京子教授(管理栄養士)を講師に迎え、小麦アレルギーを持つ人のための食事相談コーナーを設置したところ、37件の相談がありました。このような相談ができる機会は少ないようで、どの方も真剣にアドバイスを耳を傾けていました。

- 家庭で作れる米粉を使った手軽な料理の紹介 -

椋山女学園大学生生活科学部管理栄養学科と愛知文教女子短期大学生生活文化学科の協力により、米粉の特徴を生かした家庭でできる手軽な料理をデモンストレーションをしながら紹介しました。参加者からは米粉の使い道の多様さを知ることができたとの声が多数寄せられました。



料理紹介(クリームコロッケ)の様子

- 米粉に関する情報提供 -

米粉料理のレシピ紹介や米粉パンが焼けるホームベーカリーをメーカー(パナソニック(株)、三洋電機(株)、象印マホービン(株))の協力を得て展示しました。パンが焼き上がるたびにベーカリーに人が集まり、熱心に質問をしていました。

3 米粉カレーのイートインコーナーの設置

本県産米粉を使用したカレールウと米(JAあいち経済連提供)で作ったカレーに名古屋コーチン(愛知のにわとり・タマゴ消費拡大実行委員会、一般社団法人名古屋コーチン協会提供)をトッピングして1日60食限定(10月9日(日)から11日(火)3日間限り)で販売したところ、好評のうちに完売となりました。

本フェアは今回で3回目となり、米粉に対する消費者の認知度は年々向上していますが、米粉には身近で安価に買えることや調理方法のバリエーションが求められています。米粉用米は、新規需要米として生産拡大が見込まれることから、新たな「ライス・スタイル」を定着させ、需要を拡大していくには、さらなる普及啓発活動が必要です。

花き業界の現状と今後の可能性

3月11日の東日本大震災は多くの犠牲者と人の心に大きな傷を負ってしまいました。経済活動や市場の大きなうねりの中で厳しい舵取りを迫られている日本経済で、花き業界もTPPや金融制度改革など暗中模索と言って過言ではないように思います。

しかし現状、我々の日々の生活に花き類はなくてはならない存在であり、生活の糧、生命にも関わっております。

花を通じ、各地域や多くの団体・個人、生産者・市場・仲卸・花屋は被災地への支援を垣根をなくし、惜しまなく支援活動をしております。私が関わっているだけでも3団体あり、一つは被災地へバスで出向き、土を耕し花苗を地元の方々と共に植栽して翌日？翌々日は筋肉痛になりながら交流を深め、一つは被災地へ切花を無料配布し安らぎを提案し、また、日々お花の写真をメールで送り続け、ひと月に一回はフォトカードにメッセージを載せ元気づけるなどの活動はさまざまです。お花に関わりながら出来ることを多くの方々が花の持つ力を信じており、現地の声は“忘れていた安らぎ”“明日への励み”“命の大切さ”“夢心地”などなど感謝の言葉をいただき、時にはこちら側が励まされたりする事もあります。



今、花の需要拡大に花供給者はニーズに合ったマーチャンダイジング、品質保証、サプライマネジメント、差別化、産地表示 etc, を行い始めています（実は一部の方々）が、根本的に花文化の希薄化は環境の変化によるものであり、現代風花文化形成・継承こそ需要拡大へつながるのではないかと感じています。

18歳になる愚息が5歳になる頃、街路に植栽されているクチナシの花をむしっては捨てる姿に私は声をあげ花は生きている、痛がってること伝えました。花業界人にも関わらず子育てに追われていた我が家には花一輪も飾られていない生活を送っていた事を反省した事を忘れません。その彼が小学生時代から卒業した今でも彼の母校、我が母校の小学生に“花育”と称しフラワーアレンジト講習を行っています。

私だけでなく全国で子どもたちへの花育は盛んになっているようで、現に市場まつりではなくてはならないイベントになっています（写真）。

アレンジメントのマニュアルやテクニックを教えるというより、花は生きている、みんなも生きている、“身近な生きる力”が植物であり、共存することの大切さ（人に対しても）や生長する嬉しさを伝えることが出来れば、数年後子ども達は花のある生活が自然であり、花業界のボトムアップになり、心身ともに豊かな人間になることでしょう！

我々花に携わっているものとして、身近に花など小売り価格で購入して消費者の立場で会議のたび、懇親会などには欠かさず装飾したり、ハロウィンでは都会の一部のお祭りにせず、生産者主導のイベントにする習慣は出来ることの一步ではないでしょうか。

いずれ現代風花文化が形成されるために足並みを揃え一步前へ進みましょう。

注1) マーチャンダイジング：商品（花き）を求める購買層のニーズに対して適切な数量、適切な価格、適切なタイミング、適切な販売形態を検討し提供するための企業活動のこと。「商品政策」「商品化計画」ともいう。

注2) サプライマネジメント：花きの生産から消費に至る業務の流れを複数の会社・団体が統一した物流システムで連携し、顧客に対する商品（花き）の付加価値を高める管理手法。

< 株式会社 千政の概要 >

東京都中央卸売市場世田谷市場花き部にある仲卸会社。関連会社として、都内に生花店を2店舗展開している。

第 25 回全国スプレーマム愛知大会が盛大に開催されました

11 月 1 日（火）～ 2 日（水）に豊橋市・田原市で、スプレーぎく生産の総合的な振興を図ることを目的に、第 25 回全国スプレーマム愛知大会が開催されました（主催：第 25 回全国スプレーマム愛知大会実行委員会、社団法人日本花き生産協会スプレーぎく部会）。本県では、平成 9 年に蒲郡市、豊川市で開催して以来、14 年ぶりとなります。

なお、正式な作物名は「スプレーぎく」ですが、「きく」という語感から来る和風のイメージにとらわれずに利用場面を拡大したいという生産者の思いから、「きく」を意味する「マム（mum）」、すなわち「スプレーマム」を、第 23 回沖縄大会から大会名に使っています。

1 大会テーマ

「アイ（ラブ）スプレーマム 愛知から」

このテーマの、「アイ（ラブ）」には、スプレーマムの花言葉が「私はあなたを愛する」や「清らかな愛」であり、その意味を込めてあります。

また、愛知県は、全国で最もスプレーマム生産が盛んであり、この愛知大会からスプレーマムを愛する生産者の気持ちが、市場や小売りへ、そして消費者へ届くことを願って「愛知から」とされました。

2 会場

ホテル日航豊橋（式典、研究大会、資材・品種展示）

芦ヶ池農業公園サンテパルクたはら（品評会）

田原市内生産圃場、愛知みなみ農業協同組合花ポートセンター（現地調査）

3 参加人数

352 名（大会運営関係者を含む）

4 主な内容

（1）式典

11 月 1 日に行われた式典では、長年スプレーマムの生産振興に貢献された市村順一氏（栃木県）、中川新一氏（愛知県）、中井理自氏（和歌山県）



功労者表彰を受ける中川新一氏

が、功労者として表彰されました。3名とも、地域のリーダーとして生産技術の普及や販売促進に尽力し、産地の発展に貢献された方々です。

(2) 研究大会

式典後行われた研究大会では、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

基調講演では、農林水産省生産局農産部園芸作物課花き産業・施設園芸振興室長 綿谷弘勝氏を講師に迎え、花きの現状について御講話いただくとともに、花き産業の未来をひらくいくつかの取組について説明していただきました。

生産技術としては、キクでは光応答メカニズムの解明による生育制御技術等の研究が進んでいることが紹介され、生産性の向上やコスト低減の可能性が期待されています。また、需要拡大の方策としては、日持ち保証制度や「フラワーバレンタイン」への取組について説明がありました。

特に、「フラワーバレンタイン」については、物日のない2月に新たな需要を創出することと、男性から女性へ花を贈る習慣の定着を目指して、花業界全体で実施していくことの重要性を強調されました。

パネルディスカッションでは、農業総合試験場の鷹羽靖夫主任専門員のコーディネートにより、パネリストとして、基調講演講師の綿谷氏、日本花き輸出入協会の茅野貴暉氏、株式会社大田花きの田中浩二氏、スプレーマム生産者の石井宏道氏、鳥居正昭氏の5名が、スプレーマムの生産・販売の実態と今後の方向性について討議しました。

主な意見としては、「スプレーマム生産者は若い人が多い。少しの後押しが欲しい。」「農水省としては新しいことに挑戦する方を支援したい。」「消費者の声を聞く機会をもっと設けるべき。」「これからの需要を増やすためには男の財布を開けることをもっと考えたらどうか。」などが出されました。

(3) 品評会

本大会では、技術研鑽を目的に、全国スプレーマム大会では初めて品評会が同時開催されました。審査会は、大会前日の10月31日にサンテパークたはらで、農業総合試験場東三河農業研究所所長の榊原政弘審査長のもと行い、その後同じ場所で11月2日まで展示し、多くの観光客にスプレーマムをPRすることができました。

総出品点数は155点で、金賞10点、銀賞15点が選ばれました。第1席の品評会大賞は、田原市の荒木篤氏が出品した品種:「レサイバーピンク」が選ばれました。これは、発色の良さ、花数の多さなどが評価されたものです。荒木氏は、愛知県知事賞を受賞し

た田原市の花井弘氏（品種：「レミダス」）、社団法人日本花き生産協会会長賞を受賞した和歌山県の竹本寛郎氏（品種：「フェリスオーラ」）とともに、式典において表彰されました。

（４）その他

品種・資材展示は 26 社に参加いただき、多くの大会参加者が各社のブースで熱心に質問する姿が見られました。

5 最後に

本県のスプレーマムは全国 1 位の出荷量を誇っており、マレーシアなどからの輸入が増加している中でも漸増しています。また、若い生産者も多い活気ある品目といえます。この大会は、本県のスプレーマムが輸入切り花に打ち勝ち、またはこれと共存しながら、一層発展していくきっかけになったものと思います。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	516	464 (90%)	336	338	愛知 (90%) 茨城 (8%) 徳島・佐賀 (2%)
23年見通し	413		370		
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は、愛西市。 今年は日照不足の影響で不作気味。入荷量は少ないが安定しており、価格も上がっている。 品種としては、節と節の間が短く、丸みのあるだるまれんこんが増えている。</p>			<p>箱にも収まりやすい、茨城や熊本産のだるまれんこんが人気で、作業効率も良いため、愛知県ではテスト段階として導入している。 また、消費拡大や販売促進対策として、経済連と合同で、量販店などで特売も行っている。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	722	125 (17%)	177	195	茨城 (35%) 愛知 (17%) 千葉 (14%)
23年見通し	720	—	170	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>茨城の秋作は終盤を迎え、本県産と静岡からの入荷が増加してくる。 茨城の残量は前年並、愛知、静岡は順調な生育で、安定出荷が見込まれる。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をやや下回る見込みである。</p>			<p>サニーレタスは業務で安定的に使ってくれる環境をつくっていくのが必要で、そのためには、安定的な出荷を先ず第一にお願いしたい。また、毎年言っていることだが、切り口の処理、低温輸送などの鮮度保持。色づけにも十分注意して出荷して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	38,895	183	156	184	208	愛知 30%
	19年	38,266	199	194	187	218	北海道 20%
	20年	37,803	206	203	200	216	茨城 8%
	21年	37,192	191	180	183	208	長野 5%
	22年	35,413	197	199	192	201	
	5カ年平均	37,514	195	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	36,800	186	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、北海道。台風や低温の影響で生育に遅れが見られていたが、現在は回復傾向にある。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	18年	2,130	47	42	47	51	愛知 42%
	19年	2,274	65	71	64	59	千葉 30%
	20年	2,348	71	82	71	59	静岡 9%
	21年	2,263	55	48	48	67	徳島 6%
	22年	2,022	53	59	54	45	
	5カ年平均	2,207	59	61	57	57	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,100	60	70	60	50	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、千葉。愛知産は雨の影響で生育に遅れが見られたが、上旬から中旬にかけてピークとなり、その後静岡や徳島からも入荷が始まる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	18年	2,828	69	67	66	74	愛知 79%
	19年	2,828	89	102	75	94	岐阜 7%
	20年	2,644	95	103	91	90	千葉 6%
	21年	2,546	69	67	65	75	熊本 3%
	22年	2,161	102	103	100	104	
	5カ年平均	2,602	84	88	78	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,200	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、岐阜、千葉。愛知は台風の影響で、作付け面積が前年より減少している。岐阜産は上旬から中旬に入荷が終了する。関東産は初めは入荷量が少ないが、今後の天候次第で回復する見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

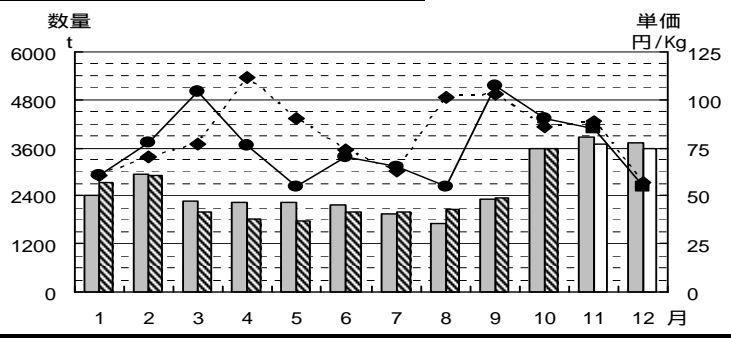
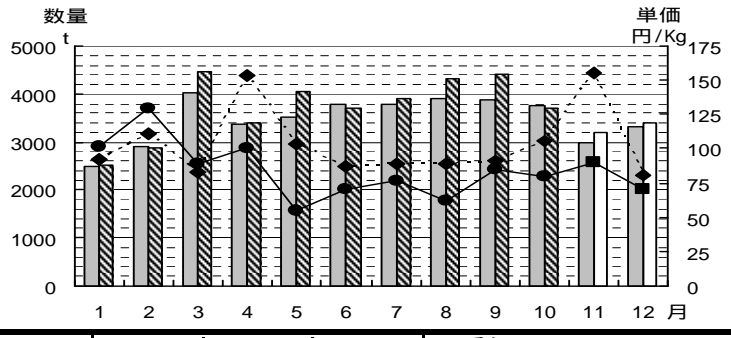
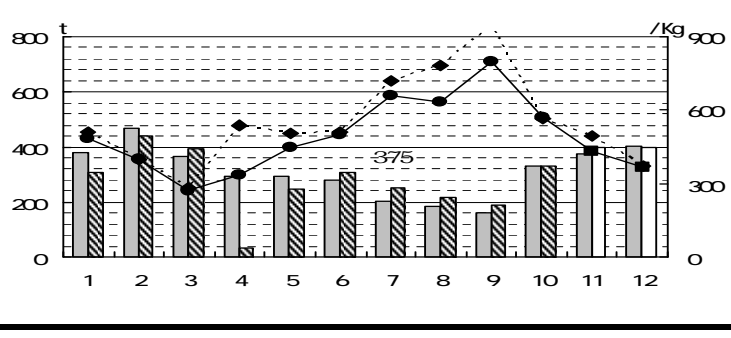
11月19日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	140,412	202	173	199	232	千葉 20%
	19年	139,477	222	212	216	237	茨城 18%
	20年	139,352	225	221	218	236	北海道 11%
	21年	139,942	209	190	191	243	愛知 7%
	22年	133,394	212	205	200	229	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	138,515	214	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	138,000	205	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となる。昨年的高温、干ばつからの入荷減に比べ、今年は台風等があったものの総じて順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
だいこん	18年	12,872	45	39	42	54	千葉 48%
	19年	13,905	64	67	62	62	神奈川 42%
	20年	13,132	68	78	68	59	徳島 4%
	21年	12,694	53	46	44	66	茨城 2%
	22年	13,546	51	56	51	48	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	13,230	56	57	54	58	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	13,500	55	50	55	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉は生育は概ね順調、品質も良好、神奈川も台風以降、適度な雨と温暖な気候により生育は順調で平年並みの入荷が見込まれる。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							
にんじん	18年	9,905	73	68	70	82	千葉 78%
	19年	10,046	100	103	93	104	埼玉 7%
	20年	8,877	110	114	102	117	茨城 4%
	21年	9,517	80	77	74	87	香川 4%
	22年	8,398	127	122	118	139	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	9,349	97	96	90	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	9,300	95	95	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉を中心とした関東産地からの入荷が本格化する。千葉は適度な降雨もあり生育は順調、病虫害の被害少なく品質も良好。埼玉についても同様なことが言える。入荷量は不作だった前年をかなり上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>							

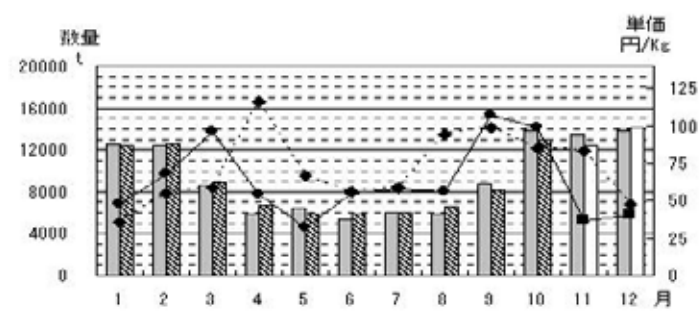
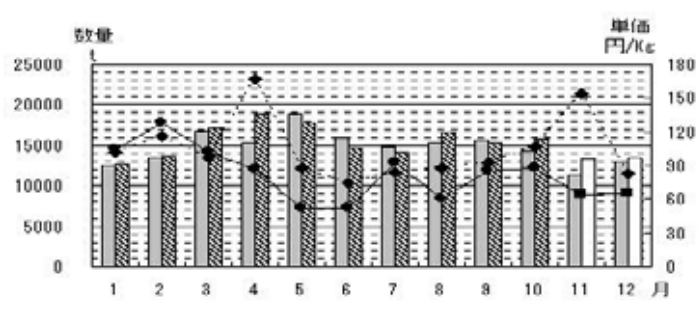
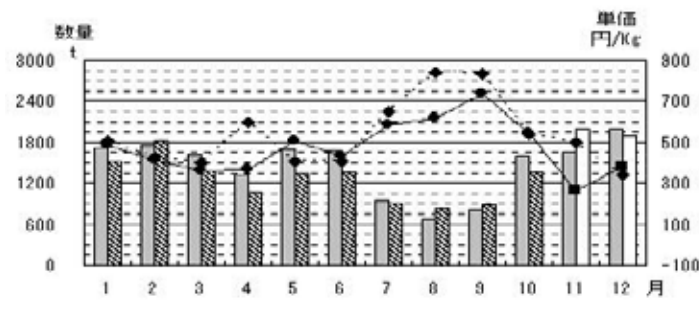
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
ほうきさい	18年	3,834	48	42	50	50
	19年	3,914	58	54	58	38%
	20年	3,965	65	61	65	4%
	21年	3,696	49	45	48	
	22年	3,741	57	56	58	
5ヵ年平均	3,830	56	52	56	58	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	3,600	55	50	55	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>主な産地は愛知、茨城。愛知産は台風の影響が少しあり、年内の豊橋産は減少する見込み。茨城産の生育状況は順調。入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回る見込み。</p>						
キャベツ	18年	3,271	40	32	45	44
	19年	3,419	74	70	79	73
	20年	3,387	107	116	104	101
	21年	3,385	51	41	40	73
	22年	3,311	81	98	76	71
5ヵ年平均	3,355	71	72	69	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	3,400	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>主な産地は愛知、茨城。愛知産は台風の影響で定植のし直しが多かったが、今後の天候次第では、回復の見込みもある。3月以降は、例年より入荷が多くなる見込み。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	18年	487	280	246	310	277
	19年	490	337	388	342	284
	20年	437	410	480	404	352
	21年	393	436	395	425	498
	22年	404	375	409	365	351
5ヵ年平均	442	363	380	366	346	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し	400	370	400	370	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
<p>主な産地は愛知、福岡。どの産地も生育は順調で、出荷が前倒し傾向にある。今後冷え込むと、下旬以降品薄になる可能性もある。愛知では、害虫の発生が多く、また作付面積が減少している。入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	18年	14,307	29	25	29	32	茨城 97%
	19年	14,951	39	37	37	43	群馬 1%
	20年	14,844	48	47	47	49	栃木 0%
	21年	14,727	30	28	27	33	岩手 0%
	22年	13,904	48	51	48	47	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	14,547	39	38	38	41	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	14,100	40	40	40	40	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>長野に代わり茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は気温が高く、肥大が進み大玉傾向。12月は気温低下に伴い消費回復が期待できる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回るものの平年並みの見込み。</p>		
キャベツ	18年	13,105	42	34	46	45	愛知 50%
	19年	12,845	70	70	72	67	千葉 30%
	20年	12,536	100	112	100	88	神奈川 9%
	21年	13,948	55	47	44	75	茨城 7%
	22年	13,051	83	97	77	73	(愛知産比率 50%)
	5ヵ年平均	13,097	70	71	67	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	13,500	65	60	70	65	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>千葉を始めとする関東産地に愛知からの入荷が本格化する。千葉は昨年は高温、干ばつの影響で遅れたが今年は順調。愛知は作付け微増で生育は順調、日中の気温は高いが夜温が低く病害の発生もない。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>		
ほうれんそう	18年	2,061	335	281	402	327	群馬 38%
	19年	2,032	367	381	369	352	千葉 21%
	20年	2,043	360	413	350	320	埼玉 18%
	21年	1,899	406	358	362	507	茨城 15%
	22年	2,003	343	353	317	356	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,008	362	357	360	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,900	380	370	380	390	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>関東産地からの入荷が中心となる。群馬は台風の影響もあったがその後の高温で生育は回復した。千葉、埼玉は10月の高温の影響で前進気味ではあるが概ね生育順調。入荷量は全体に前進傾向にあり前年をやや下回る見込み。価格は前年をかなり上回る見込み。</p>		

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	1,314	266	257	274	266	愛知 18%
	19年	1,385	356	368	329	369	大分 17%
	20年	1,442	310	303	292	337	静岡 11%
	21年	1,477	332	283	308	391	群馬 9%
	22年	1,401	357	348	333	383	
	5カ年平均	1,404	325	312	307	351	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,450	330	330	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、大分、静岡、群馬。秋から冬にかけて出荷が前倒し傾向にある。静岡では台風の影響があったが、九州産は生育も順調。愛知では害虫の発生が多く見られている。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
レタ	18年	2,400	151	114	159	175	兵庫 50%
	19年	1,959	180	174	188	178	愛知 16%
	20年	1,607	282	294	259	296	静岡 12%
	21年	1,615	206	188	181	240	熊本 9%
	22年	1,909	141	160	130	136	
	5カ年平均	1,898	186	179	180	199	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,900	170	150	160	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は兵庫、愛知、静岡、熊本。関東地方では、上旬ごろに出荷が終了する。その後兵庫や愛知産が始まるが、出荷は順調となる見込み。愛知では、玉レタが減って、リーフ系が増えている。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅう	18年	1,163	507	371	434	727	愛知 43%
	19年	1,304	383	322	375	452	宮崎 21%
	20年	2,316	221	166	233	276	高知 18%
	21年	1,242	373	316	347	463	鹿児島 15%
	22年	1,163	335	267	305	447	
	5カ年平均	1,438	341	270	323	441	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,250	380	320	360	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、宮崎、高知、鹿児島。九州、四国地方では出荷のスタートが遅れる見込み。愛知では作付面積が減少してきている。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格も前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	18年	6,633	183	185	180	184	千葉 23%
	19年	6,486	258	268	235	270	埼玉 19%
	20年	6,826	196	207	172	209	茨城 15%
	21年	6,464	243	205	216	298	群馬 11%
	22年	5,860	266	265	252	277	(愛知産比率 0%)
ぎ	5カ年平均	6,454	228	225	210	246	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	6,400	210	210	200	220	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地からの入荷が本格化してくる。千葉は肥大がやや遅れているが生育は概ね順調。茨城、埼玉は台風の影響で生育遅れがあったがその後の天候回復で生育順調。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し た ス	18年	8,651	161	126	170	179	静岡 30%
	19年	8,322	183	178	190	181	茨城 22%
	20年	7,544	262	265	246	275	香川 15%
	21年	7,383	205	185	187	237	兵庫 9%
	22年	8,305	149	154	143	149	(愛知産比率 3%)
ス	5カ年平均	8,041	190	179	186	202	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	8,300	180	160	180	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>静岡からの入荷が本格化し、香川、兵庫からの入荷も続く。静岡は若干遅れがあったものの現況回復、茨城は、上旬は多いが徐々に減り月末には切り上がる。香川は中旬から本格化する。入荷量はやや前年を下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
き ゆ り	18年	4,276	532	379	464	774	宮崎 35%
	19年	4,813	394	342	381	462	千葉 20%
	20年	4,949	423	413	408	451	高知 17%
	21年	4,989	390	333	363	475	埼玉 16%
	22年	4,809	354	289	316	466	(愛知産比率 -%)
り	5カ年平均	4,767	416	351	385	519	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,800	380	350	380	410	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地に加えて西南暖地からの入荷が増加してくる。西南暖地は11月上旬に曇天が続き、作柄はやや不良。埼玉、千葉は生育概ね順調で平年並の入荷見込まれる。全体の入荷量は少なかった前年並み、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	18年	445	365	337	375	381	熊本 54%
	19年	441	359	370	363	343	愛知 44%
	20年	427	355	349	357	359	高知 2%
	21年	457	362	372	381	327	0 0%
	22年	409	332	327	337	335	
す	5カ年平均	436	355	352	363	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	450	330	330	330	330	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		<p>主な産地は熊本、愛知。どちらも生育は順調だが、消費が減退傾向にある。産地では、燃油の高騰により、ハウス栽培から露地栽培の夏秋ものが増えている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ト	18年	1,098	260	320	252	209	熊本 36%
	19年	825	424	539	400	355	愛知 34%
	20年	866	337	395	313	308	三重 19%
	21年	953	282	347	254	250	岐阜 10%
	22年	855	300	302	286	310	
ト	5カ年平均	919	316	376	297	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	880	300	300	290	310	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		<p>主な産地は熊本、愛知、三重、岐阜。どの産地も生育は順調。愛知では渥美や尾張地域が中心。上旬の入荷量は少なめだが、その後安定する見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ミ	18年	271	486	546	414	505	愛知 44%
	19年	228	793	844	857	697	熊本 43%
	20年	228	685	758	646	667	和歌山 9%
	21年	294	522	486	483	605	
	22年	309	548	543	521	583	
ト	5カ年平均	266	595	619	570	606	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	300	540	550	500	550	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/Kg		
		<p>主な産地は愛知、熊本。愛知産はパック売り、熊本産はバラ売りが中心。作柄は良好で、週を追って入荷が増える見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	1,962	425	246	444	408	高知 60%
	19年	2,071	400	416	388	395	福岡 20%
	20年	2,051	400	399	407	393	佐賀 6%
	21年	2,001	400	435	408	355	熊本 6%
	22年	1,722	420	400	426	436	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	1,961	409	380	414	396	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,950	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地にかわり、西南暖地からの入荷が本格化する。11月前半に若干前倒し出荷となったが前年ほどの前進ではない。生育状況は、高知、福岡ともに順調で計画通りの入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	5,973	284	343	274	244	熊本 43%
	19年	4,561	447	557	434	377	愛知 20%
	20年	4,652	396	462	364	367	千葉 9%
	21年	5,373	330	369	312	312	栃木 9%
	22年	4,807	345	337	333	366	(愛知産比率 20%)
	5ヵ年平均	5,073	355	408	339	328	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	4,800	360	370	350	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え、西南暖地と愛知からの入荷が本格化する。熊本は上旬で促成タイプが終了し、越冬タイプに切り替わる。病害の発生は若干多いが総体の影響は少ない。本県産については順調な出荷が期待できる。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	1,303	485	532	438	491	愛知 29%
	19年	1,027	788	818	848	706	熊本 28%
	20年	1,053	654	709	609	652	千葉 12%
	21年	1,290	480	462	430	553	宮崎 10%
	22年	1,251	512	516	471	550	(愛知産比率 29%)
	5ヵ年平均	1,185	572	594	545	583	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,200	540	540	510	570	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と愛知、熊本からの入荷が中心となる。愛知、熊本とも玉伸びも良く、生育は概ね順調、品質的にも甘さののってきており問題はない。大きなピークなく順調な出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	18年	370	439	313	407	697	宮崎 45%	
	19年	435	355	380	338	352	鹿児島 40%	
	20年	350	538	491	579	527	高知 14%	
	21年	376	477	424	489	517		
	22年	444	338	322	356	340	(愛知産比率 0%)	
マ	5カ年平均	395	423	382	426	476	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	420	350	350	350	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 1200 t			単価 円/kg
		主な産地は宮崎、鹿児島、高知。冷え込みの影響で、販売価格にバラツキがあるが、荷動きは堅調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
ばれいしょ	18年	3,551	97	98	100	92	北海道 64%	
	19年	3,062	82	78	84	84	長崎 37%	
	20年	3,068	87	89	90	80	愛知 0%	
	21年	2,939	115	129	124	97		
	22年	2,521	139	155	143	117	(愛知産比率 0%)	
い	5カ年平均	3,028	102	108	107	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	2,800	110	110	110	110		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 6000 t			単価 円/kg
		主な産地は北海道、長崎。北海道産は小玉傾向で、量も少ない。長崎産は作柄も良好で、L玉が多い。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
たまねぎ	18年	5,872	75	75	82	69	北海道 85%	
	19年	5,832	66	70	66	63	アメリカ 13%	
	20年	6,094	64	67	66	58	中国 1%	
	21年	6,013	87	94	96	76	兵庫 1%	
	22年	4,788	114	129	108	105		
ね	5カ年平均	5,720	80	85	83	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	5,300	85	85	85	85		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 10000 t			単価 円/kg
		主な産地は北海道、アメリカ。北海道では、地域によって作柄にバラツキがある。北見地域は大玉傾向。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	1,571	425	275	390	685	茨城 46%
	19年	1,579	366	377	360	358	宮崎 28%
	20年	1,642	493	488	522	457	鹿児島 13%
	21年	1,400	485	396	508	564	高知 12%
	22年	1,463	331	334	322	338	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,531	420	375	421	480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,400	360	350	370	360	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城に加えて西南暖地からの入荷が始まる。茨城の生育は概ね順調。宮崎はこのところの雲雨天で生育は遅れている。日中と夜温との差が少なく花つきも悪い。今後回復も見込めるが、潤沢だった昨年の出荷量を下回る見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
ばいしょ	18年	7,640	111	110	110	114	北海道 81%
	19年	8,094	89	85	90	91	長崎 19%
	20年	8,093	97	97	96	97	鹿児島 0%
	21年	7,892	134	131	132	140	(愛知産比率 0%)
	22年	7,064	149	156	147	145	
いしょ	5カ年平均	7,757	115	115	114	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	7,400	110	110	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道からの入荷が中心となる。北海道内の産地により作柄の差があるものの生産環境は前年より良いものの全体的に小玉傾向。長崎は適度な雨にも恵まれ作柄良好。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
たまねぎ	18年	10,313	87	85	87	88	北海道 78%
	19年	10,009	75	74	76	77	米国 16%
	20年	10,509	74	75	74	73	中国 5%
	21年	10,206	113	106	115	118	(愛知産比率 0%)
	22年	8,681	142	145	142	140	
ねぎ	5カ年平均	9,944	97	95	97	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	10,200	90	90	90	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		春先まで北海道中心の入荷が続く。早生種から中晩生種へと切り替わる。地域によっては前年同様に作柄不良のところもあるが、前年ほどではない。需要にあわせた出荷のため大幅な増量はない。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	18年	14,197	339	297	341	380	静岡 18%
	19年	15,207	269	230	276	302	愛知 18%
	20年	13,535	303	272	307	331	フィリピン 16%
	21年	13,251	257	227	268	277	和歌山 9%
	22年	12,335	322	290	326	352	
	5カ年平均	13,705	297	-	-	-	
	23年見通し	12,700	280	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、愛知。 10月の気温が高かった影響で、果実全体で出荷が前倒し傾向にある。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
み か ん	17年	6,003	295	281	286	313	静岡 39%
	18年	7,675	152	138	138	176	愛知 33%
	19年	6,155	244	230	240	259	和歌山 18%
	20年	6,337	163	139	159	184	熊本 4%
	21年	5,636	241	236	238	247	
	5カ年平均	6,361	215	-	-	-	
	22年見通し	6,000	200	200	200	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、愛知、和歌山。夏の高温や台風の影響で、傷んでいるもの多く、味は低糖低酸。2Lサイズが中心。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
い ち ご	18年	740	1,437	1,148	1,433	1,636	愛知 61%
	19年	636	1,686	1,429	1,611	1,912	熊本 19%
	20年	717	1,329	1,126	1,284	1,556	三重 7%
	21年	647	1,307	1,163	1,180	1,539	鹿児島 6%
	22年	628	1,581	1,255	1,492	1,881	
	5カ年平均	674	1,463	-	-	-	
	23年見通し	650	1,400	1,200	1,400	1,600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。台風の被害が一部で見られたが、その後回復傾向にある。震災の影響で、関東産の業務需要が減る可能性がある。品種では「あまおう」が人気。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	55,801	381	339	386	411	愛媛 26%
	19年	63,636	307	267	322	324	和歌山 11%
	20年	60,870	322	292	324	345	フィリピン 9%
	21年	62,430	272	245	279	287	熊本 8%
	22年	52,620	361	325	359	393	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	59,071	326	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	57,000	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは全体に品薄傾向で入荷量は少ない。洋なしは品質、食味とも良好で入荷量も安定する予想。富有柿は冷蔵物に切り替わるが入荷量は少ない見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					
みかん	18年	31,117	289	284	292	187	愛媛 44%
	19年	39,384	185	179	190	291	和歌山 18%
	20年	35,101	243	242	245	243	長崎 12%
	21年	36,856	172	167	170	175	熊本 10%
	22年	29,766	264	259	263	269	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	34,445	226	222	228	234	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	34,000	225	225	220	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛中心に和歌山等から普通温州が入荷する。愛媛は極早生、早生同様に生理落果があり、表年としてはやや少ない。各産地ともに大玉果比率が高く、少なかった昨年を上回り、中旬以降増加する見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					
いちご	18年	3,326	1,525	1,235	1,429	1,770	栃木 42%
	19年	3,128	1,683	1,434	1,538	1,982	福岡 19%
	20年	3,197	1,402	1,270	1,276	1,627	茨城 11%
	21年	3,057	1,430	1,236	1,312	1,639	佐賀 11%
	22年	2,848	1,601	1,314	1,480	1,874	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	3,111	1,527	1,297	1,406	1,777	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	3,100	1,500	1,400	1,500	1,600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、福岡、茨城等中心に入荷。栃木の生育は11月期の高温で小玉傾向にあるが、12月には数量がまとまる見込み。福岡も前進傾向にあり、入荷量は前年を上回る予想。茨城県も安定した出荷となる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月26日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	19年	4,231	62	
		20年	4,387	52	
		21年	3,441	62	
		22年	3,400	51	
		4ヶ年平均	3,865	57	
	23年見通し	4,000	55		
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。今年は平年と比べると気温がかなり高く順調に推移。今期は上旬から順調に入荷し、特に輸入あたりは15日あたりまでの入荷で、それ以降は国内産が順調に推移すると思われる。				
小 ぎ	実績	19年	2,657	31	
		20年	2,846	26	
		21年	2,335	30	
		22年	2,112	31	
		4ヶ年平均	2,488	29	
	23年見通し	2,500	30		
概要	産地は沖縄が中心。産地状況も順調で作付けも昨年より多くなっているが、一昨年と同じくらい戻っただけなので極端な増加ではなく平年に戻った状況である。作付けでは平均しているが、赤小の引き合いが特に強くなりそう。ピークは20日から23日あたりを予定している。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	19年	1,177	46	
		20年	1,233	41	
		21年	1,206	41	
		22年	1,482	32	
		4ヶ年平均	1,274	40	
	23年見通し	1,500	35		
概要	愛知を中心に長野、和歌山等から入荷。10,11月と気温が高かったため、長野産の他愛知産の量が増え、11月は価格は低迷した。12月には例年よりも秀品率も上がり、量的にもあり、年末需要に対応できる。				
か す み	実績	19年	194	112	
		20年	213	89	
		21年	175	97	
		22年	205	64	
		4ヶ年平均	197	90	
	23年見通し	230	65		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。やや遅れ気味の産地もあるが、入荷量は前年並み。前半は業務中心の動き、20日以降一般需要が見込まれるが、12月を通しては厳しい展開になりそう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	19年	537	193	
		20年	507	163	
		21年	437	168	
		22年	437	188	
	4ヶ年平均		479	178	
	23年見通し		480	180	
概要	0Hは高知、埼玉、愛知、静岡などから入荷。生育はやや前進、数量は昨年並みに豊富。12月の気温次第で月末の数量は少なくなる。鉄砲は年内の出荷量は昨年よりも少なく、業務に加え、年末は一般の消費もあるため、動きはいい。LAは昨年と同じでやや前進の生育ではあるが、年末に合わせて増加する。				
洋 ら ん	実績	19年	537	116	
		20年	459	119	
		21年	402	121	
		22年	648	80	
	4ヶ年平均		511	106	
	23年見通し		700	80	
概要	高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知等から入荷。品目によっては若干夏の暑さの影響があるものの全体的には順調な入荷となる見込み。ただ、タイ産のデンファレは11月の水害の被害が12月に本格的に出てくるのが予想され、最大の需要期であるだけに大きな不安材料である。				
ば ら	実績	19年	849	84	
		20年	852	86	
		21年	895	81	
		22年	793	82	
	4ヶ年平均		847	83	
	23年見通し		850	83	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山、静岡中心に入荷。今年も重油高で生産者には厳しい状況になっているが、年末、クリスマスに向けて生育は順調。赤バラはサムライを中心に年末、クリスマスが近づくとつれ、引合いが強くなる。				
枝 も の	実績	19年	4,831	75	
		20年	5,009	64	
		21年	4,597	64	
		22年	5,580	43	
	4ヶ年平均		5,004	61	
	23年見通し		5,600	50	
概要	茨木、兵庫、愛媛、高知、和歌山、静岡、長野等から年末の花材の松、千両が前半に入荷し、後半には葉ボタン、姫南天等の年末花材、ボケや雪柳の促成物が入っていく。稽古需要は減っているため、価格は鈍い動きとなろう。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	18年	12,336	969	
		19年	15,182	879	
		20年	14,820	728	
		21年	11,898	730	
		22年	10,244	683	
	5ヶ年平均		12,896	803	
	23年見通し		7,000	670	
概要	<p>入荷量は昨年よりやや減少か。全体では、大鉢より中鉢(7~8号鉢)の入荷がメインであり、愛知県及び岐阜県では、4~6号鉢の入荷がメインである。品目では、ユッカ、マッケンがメイン。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(66.9%)、2位鹿児島(15.5%)、3位岐阜(5.8%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	18年	15,317	526	
		19年	27,626	399	
		20年	18,162	532	
		21年	12,035	482	
		22年	19,127	435	
	5ヶ年平均		18,453	465	
	23年見通し		19,000	400	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。入荷のほとんどは11月で、終わるので、この月は落ち着いた動きとなる。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(96.6%)、2位茨城(3.4%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	18年	663,252	449	
		19年	698,717	464	
		20年	718,327	403	
		21年	616,427	400	
		22年	708,373	377	
	5ヶ年平均		681,019	419	
	23年見通し		650,000	360	
概要	<p>入荷量は昨年よりやや減少か。生産が6号鉢から5号鉢へシフトされつつあり、1ヶ入、2ヶ入のものがやや減少。また、5号鉢の良品もやや減少。相場については、全体的に低迷しそうである。</p> <p>昨年12月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(33.9%)、2位長野(17.1%)、3位山梨(11.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	18年	156,441	2,802	
		19年	162,428	2,765	
		20年	167,941	2,305	
		21年	139,230	2,300	
		22年	148,386	2,509	
	5ヶ年平均	154,885	2,107		
	23年見通し	150,000	2,400		
概要	<p>入荷量は、夏期の高温障害等もなく、順調に生育しているので、やや増加し、品質もよさそう。最盛期は上旬で、中旬には品薄となりそう。 昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（49.6%）、2位徳島（11.4%）、3位高知（7.6%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	18年	36,477	162	
		19年	41,736	206	
		20年	37,078	204	
		21年	34,016	200	
		22年	32,039	236	
	5ヶ年平均	36,269	201		
	23年見通し	30,000	220		
概要	<p>入荷量は昨年よりやや減少か。2.5号～4号鉢がメインとなる。相場は中値安定か。 昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜（47%）、2位埼玉（44.3%）、3位茨城（8%）となっている。</p>				
パンジー	実績	18年	648,083	30	
		19年	660,540	46	
		20年	977,954	29	
		21年	601,375	30	
		22年	558,913	49	
	5ヶ年平均	689,373	36		
	23年見通し	550,000	45		
概要	<p>生産量は生育良好から、増加しているが、10月、11月と前倒し入荷となり、入荷量は昨年並みか。相場については安定か。 昨年12月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（48.6%）、2位奈良（20.9%）、3位三重（15.1%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2011年)

1 輸入実績

品名	9月						9月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	50,883	115.9	6,630,228	133.4	130	115.1	616,253	1,656	56,873,456	1,232	92	74.4
トマト	285	124.9	91,697	155.3	321	124.4	1,840	660	558,726	844	304	127.9
たまねぎ	22,764	134.0	639,799	111.5	28	83.2	266,739	1,604	10,840,863	1,674	41	104.3
にんにく	1,745	86.0	202,403	42.9	116	49.9	14,468	755	2,724,429	1,085	188	143.8
ねぎ	4,340	103.2	513,332	136.6	118	132.4	39,452	1,421	3,626,010	1,013	92	71.2
ブロッコリー	4,671	118.9	738,070	132.7	158	111.7	27,069	801	4,391,701	856	162	106.9
結球キャベツ	791	80.1	20,315	65.0	26	81.1	22,599	8,045	731,098	5,222	32	64.9
にんじん・かぶ	6,303	83.2	273,271	102.8	43	123.6	62,855	1,381	2,989,199	1,170	48	84.7
ごぼう	3,703	119.2	273,271	171.2	74	143.6	32,264	1,097	2,679,572	1,778	83	162.1
えんどう	156	301.9	51,243	384.7	328	127.5	1,563	2,871	451,654	3,152	289	109.8
アスパラガス	764	463.6	479,177	527.6	627	113.8	8,541	4,585	4,226,476	3,573	495	77.9
まつたけ	363	82.1	1,859,459	159.4	5,127	194.2	809	159	3,437,536	284	4,249	178.8
しいたけ	273	166.5	71,283	173.0	261	103.9	3,321	3,095	862,618	3,102	260	100.3
かぼちゃ	107	59.9	11,373	81.8	106	136.5	89,565	43,670	5,671,485	30,895	63	70.7
果実(生鮮・乾燥)	135,432	90.9	15,001,982	91.1	111	100.2	1,468,968	954	171,355,784	999	117	104.7
バナナ	85,791	97.9	5,845,297	97.4	68	99.5	815,454	860	56,576,278	746	69	86.7
パイナップル	11,364	97.1	671,003	96.4	59	99.3	118,540	976	7,033,485	902	59	92.4
レモン	3,868	62.1	294,753	48.3	76	77.8	42,255	854	4,293,228	872	102	102.0
オレンジ	7,681	89.9	632,507	83.5	82	92.9	104,197	1,217	9,621,629	1,157	92	95.0
グレープフルーツ	3,333	32.6	247,460	38.4	74	118.0	139,588	1,054	11,498,487	1,413	82	134.0
メロン	3,107	149.3	222,356	131.6	72	88.2	26,100	1,551	2,576,945	2,044	99	131.8
ぶどう	707	512.5	166,612	490.8	236	95.8	9,460	6,353	1,674,662	4,351	177	68.5
キウイ	7,367	79.7	1,993,387	72.2	271	90.5	59,603	797	18,302,768	801	307	100.6
いちご	663	129.9	518,984	123.1	783	94.8	2,108	381	1,684,427	342	799	89.8
切花(生鮮・乾燥)	-	0.0	-	0.0	-	-	26,580	678	18,637,380	648	701	95.6
鳥獣肉類	142,953	91.6	62,452,831	94.3	437	103.0	1,380,018	1,153	601,555,227	1,143	436	99.1
牛肉(くず肉含む)	44,438	97.8	17,453,257	97.6	393	99.7	380,700	979	156,401,802	985	411	100.6
豚肉(くず肉含む)	60,700	91.3	30,870,928	88.5	509	97.0	579,435	1,102	302,917,030	1,098	523	99.6
鶏肉	31,644	86.5	9,192,249	105.8	290	122.4	351,492	1,615	98,004,525	2,068	279	128.1
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	140,843	96.9	84,999,850	100.5	604	103.7	1,267,880	954	704,233,058	960	555	100.5
まぐろ類	18,166	89.6	18,717,330	113.9	1,030	127.1	118,339	638	102,672,026	706	868	110.6
さば・さんま・あじ・いわし	2,895	71.1	495,707	68.4	171	96.3	49,814	1,255	8,150,944	1,423	164	113.4

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	639	200.1	389,499	156.5	610	78.2	11,840	1,985	4,265,284	1,186	360	59.8
うんしゅうみかん	7	176.2	9,915	197.5	1,416	112.1	165	3,392	119,861	2,431	725	71.7
りんご	32	57.7	10,911	39.8	341	68.9	10,320	5,555	3,060,095	4,318	297	77.7
なし	312	2089.8	166,042	2014.6	532	96.4	434	424	227,337	491	524	115.9
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	201,715	109.6	-	-	-	-	1,480,857	770	-	-
緑茶	174	94.1	331,424	95.8	1,910	101.8	1,801	1,011	3,481,669	1,190	1,933	117.8

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 5月	99.9	89.1	101.1	100.0	99.8
	6月	99.7	93.5	100.9	100.0	100.0
	7月	99.7	95.1	99.9	99.7	100.8
	8月	99.9	93.4	101.3	99.6	101.9
	9月	99.9	101.4	88.8	99.8	101.9
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 5月	99.6	92.1	102.9	101.7	100.1
	6月	99.7	97.4	100.1	103.5	102.7
	7月	99.6	96.2	103.3	101.6	103.7
	8月	99.7	93.4	102.5	102.8	104.4
	9月	99.9	104.7	95.3	105.1	104.6

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
22年平均	22年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 5月	92.6	86.4	88.2	91.3	103.6
	6月	95.7	86.4	108.3	105.1	103.5
	7月	98.8	86.3	111.9	151.9	101.9
	8月	91.7	86.8	92.5	105.8	101.6
	9月	99.1	90.8	114.7	93.4	101.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 5月	1,809	125	200	595	279	430	127	400	267	398	499	164	516
6月	1,797	109	194	651	338	401	145	332	204	514	504	172	502
7月	1,812	172	175	675	288	329	152	329	175	537	628	167	516
8月	1,828	106	161	693	308	297	141	354	195	491	566	164	-
9月	1,883	122	212	748	756	267	178	344	210	601	645	193	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1本	100g	1本	100g	100g	100g	100g
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 5月	-	283	344	130	227	795	551	168	156	307	218	855	407
6月	-	280	354	-	224	733	544	143	159	293	233	818	411
7月	-	278	354	-	219	800	541	146	161	287	224	835	453
8月	-	285	383	-	226	798	542	155	173	294	230	853	436
9月	753	280	382	-	239	734	532	149	165	296	236	862	428

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 462
平成23年12月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417